

英語科学習指導案

指導者 高橋 健

1 日時 平成24年7月6日(金) 1校時

2 学級 3年3組 男子18名 女子11名 合計29名 南校舎3階 3年3組教室

3 主題 PROGRAM 3 The 5 Rs to Save the Earth(SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

4 主題について

本単元では、日常の身近な場面で私たちが環境を守るために何ができるかを具体的に考えさせることをねらいとしている。環境保護への意識が世界中で高まっている中、「リサイクル」という言葉は、リサイクル・ショップやリサイクル・ペーパーなどのように、日本語の中にも定着している。武史とリサの会話を通して、一般に知られている3つのRに加えて、さらに自分たちの生活を見直すことができるように reduce、recycle、reuse、refuse、repair の5つのRの大切さを考える。言語材料としては、It is ~ (for 人)to 動詞の原形、how (what/where) to 動詞の原形、ask (tell/want) 人 to 動詞の原形などを扱う。本単元の最終到達目標を、5Rsについて学んだことの感想や、地球環境を守る上でやるべきこと、取り組みたいことについて英語で書くこととする。

3年生はこれまで授業の Warm-up として、~ Seconds Quiz に取り組んできており、英語句の Input に力を入れてきた。制限時間内に与えられた語句を言い切ろうとする姿勢、そしてさらに目標を高く設定してできるだけ速いタイムで達成しようとする雰囲気ができつつある。本学級は、他学級と比較すると若干教師の問いかけに対しての反応に乏しい傾向もあるが、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」という観点で見れば、英語で応じようとしたり、教師による英語の指示等も何とか聞き取ろうとしたりする姿勢で授業に臨んでいる。以下のそれぞれの語について知っているか尋ねたところ、reduce 79%、recycle 97%、reuse 79%、refuse 14%、repair 17%の認知度であった。また、普段、地球環境を守るために意識していることや、何か取り組んでいることがあるかについても質問してみたところ、「節電」「節水」「リサイクル」「ゴミの分別」などが挙げられた。

本単元の最後には、5(6)Rs についての感想や、地球環境を守るために「自分ができること」「自分がすべきこと」「自分がしたいこと」などについて書かせることを目標としている。その目標を達成するために段階的に書く活動を取り入れていきたい。第3時においては、3Rs について考えたことを、第5時ではリサの意見を読んだ上で自分の意見を書く活動を行う。単元の最終的なアウトプットに向けて、単元の学習過程で意図的にアウトプットを組み入れ、積み上げておくという考えからである。

5 指導と評価の計画(別紙)

6 本時の達成目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	感想の記述に積極的に取り組んでいる。
外国語表現の能力	5Rs について学んだことや、地球環境を守るためにできることやすべきことを書いている。 〈生徒の記述例〉 ・地球を守るために、5(6)Rs がとても重要であると感じた。英文に書いたように、自分ができることから取り組んでいきたい。
外国語理解の能力	
言語や文化についての知識・理解	

7 本時の指導構想

(1)「教えて考えさせる授業」にかかわって

本時は、評価規準の「外国語表現の能力」の「5 R s について学んだことや、地球環境を守るためにできることやすべきことを書いている」を主にねらったものである。

- ①【説明する】…一つ目は、本文のメールを意味の切れ目を意識して内容を捉えることができるようにチャックで区切らせた上でその内容を確認し、音読できるように指導していくことである。二つ目は、前回までに習った4 R s (reduce、 recycle、 reuse、 refuse)について想起させることである。
- ②【理解の確認】…ペアによる練習、個別練習を通してその理解度、達成度をモニタリングする。
- ③【理解深化】…教科書本文を理解した上で、地球環境を守るために自分ができることを書かせる。これを書くために、メールの内容やこれまで読んできた教科書本文をさらに何度も読み返すことによって、本文対話の理解がより一層深まると考える。ワンガリ・マータイさんによると、これらのR s の精神は、日本語の「もったいない」にあたるということ、そして彼女が提唱するもう一つのRである respect についても紹介する。また、書く前に、感想や自分ができること、すべきこと、したいことなどをペア内で口頭で説明させたい。この「話す」活動を通して、自分の考えが整理されると考える。ペア、またはグループ内で英語による感想を交流させることで、他人の意見に触れさせたり、英語そのものの表現法について学びを深めさせたい。また、このことが読解の量の確保にもつながると考える。
- ④【自己評価活動】…メールの内容をつかみ、音読した上で地球環境を守るために「自分ができること」「自分がすべきこと」「自分がしたいこと」などについて書いたことについて振り返らせる。5 (6) R s についての学んだことや、級友の書いた英文を読んで感じたことなども書かせたい。

(2)「表現すること」にかかわって

本時で大切にしたい「表現する」活動は以下の3点である。

まず、本文メールの内容の理解ができているか、音読できるかをモニタリングする場面である。不十分な状態が表出すれば追指導を行う。

次に、メールの内容を理解、音読した上で、地球環境を守るために「自分ができること」「自分がすべきこと」「自分がしたいこと」などについて書かせることである。

最後に、「自己評価活動」で、5 (6) R s について学んだことを振り返って記述することである。

(3)本時の展開

段階	学 習 活 動	教師の指導・支援	評価の観点・方法	教材・教具等
説明する 17	1. 60 Seconds Quiz ⑥ (PROGRAM 3 の表現を扱う。E → J、J → E) 2. 学習課題を確認する。	1. ペア・ワークが円滑に進むよう観察、指導する。		・シート
	5 R s について学んだことの感想を書こう！			・PC ・教科書
理解の確認 8	3. 対話の内容確認および音読練習	2-1. 本時の目標を確認する。 2-2. 4 R s について確認する。 3-1. チャンキング指導 3-2. 内容確認・音読(ペア)		・教科書
	4. ペアで音読練習。	4. 理解度、達成度をモニタリングし、必要であれば追指導を行う。		・教科書
理解深化 20	5. ワンガリ・マータイさんの考えについて触れる。 ①空欄に入る語を予想する ②マータイさんの声を聞く ③空欄に入る語を確認する	<p>The spirit of 3 Rs is "(1) _____."</p> <p>We should (2) _____ nature.</p> <p>We should (2) _____ the earth."</p> <p>(1)mottainai (2)respect</p>		・紙板書 ・CD
	6. 5 (6) R s について学んできたことの感想や、地球環境を守るために自分ができること、すべきことなどを英語で書く。 ①感想などについて、英語を用いて口頭でペア内で交流する。 ②感想等を英語で書く。 ③級友の英文を読む。	6. これまでに習った表現を振り所に、自分の考えを書かせる。	<p>【外国語表現の能力】</p> <p>学んだことに即してその感想や自分ができること、すべきこと、自分ができることを書いている。</p> <p>〈記述〉</p> <p>A：書かれた英文に正確さとまとまりが認められる。</p> <p>C：本文対話の英借文に使えるような箇所を確認する。</p>	・シート
自己評価活動 5	7. 本時の学習について振り返る。	7. 本時の学習課題に対する振り返りをおこなう。		・シート
<p>【生徒の記入例】</p> <p>・地球を守るために、5 (6) R s がとても重要であると感じた。英文に書いたように、自分ができることから取り組んでいきたい。</p> <p>・自分は壊れたものはすぐに捨ててしまっていた。修理できるものは修理して使いたい。〇〇さんの考えや英語の表現の仕方が参考になった。</p>				